

愛知県臨床検査精度管理調査（アンケート集計）

令和7年度 精度管理アンケート調査結果

愛知県臨床検査技師会 精度管理事業部

部長

齊藤 翠

藤田医科大学病院

事務局

手嶋 充善

豊橋市民病院

佐藤 文明

株式会社グッドライフデザイン

安井 佑輔

愛知県がんセンター

事務局長

及川 彰太

藤田医科大学病院

西谷 由美子

社会医療法人大雄会総合大雄会病院

桂川 陽平

JA愛知厚生連安城更生病院

Quality Control Survey Report

2025

本資料は令和7年度に実施された
精度管理調査およびアンケート結果の
集計・分析報告です。

目次

本報告書では、令和7年度の精度管理調査におけるアンケート結果を総括します。

各部門の結果および今後の課題について、詳細に報告いたします。



- 01 はじめに（調査概要・JAMTQC・目的）
- 02 調査対象と方法
- 03 調査結果①: 参加費・結果検討会
- 04 調査結果②: 他の精度管理調査・SARS-CoV-2
- 05 調査結果③: 責任者・標準作業手順書
- 06 サンプルサーベイ部門の結果
- 07 フォトサーベイ部門の結果
- 08 評価対象外設問の結果
- 09 まとめと今後の課題
- 10 問い合わせ先

はじめに



調査概要

本年度の精度管理調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、昨年度と同時期に実施いたしました。



JAMTQCの利用

調査には、日本臨床衛生検査技師会が提供する精度管理事業・データ標準化事業システム（JAMTQC）を利用しました。



アンケート調査の目的

- ✓ 愛知県内の精度管理の実態把握
- ✓ 標準作業手順書（SOP）運用の状況確認
- ✓ 結果検討会・報告会の開催形式検討
- ✓ 次年度以降の事業展開への反映

調査対象と方法

調査対象・方法

対象施設数

143施設

令和7年度愛知県臨床検査精度管理調査参加施設

実施方法

JAMTQC（日本臨床衛生検査技師会システム）内にてアンケート設問を設定し、オンラインで回答を収集。

技師長クラス向け設問

本精度管理調査の参加費の妥当性 結果検討会・報告会の必要性と開催形式

精度管理責任者の職種

標準作業手順書（SOP）の作成状況

部門別アンケート内容

サンプルサーベイ部門

測定項目数に関する調査

試料の量に関する調査（計2題）

フォトサーベイ部門

設問量および難易度

設問内容に関する調査（計3題）

評価対象外設問部門

設問量・難易度・内容

評価対象外設問の必要性（計4題）

調査結果①: 参加費・結果検討会

参加費の妥当性

90.4%
妥当

8.4%
高い

昨年度と同程度の割合を維持

結果検討会の開催形式（希望）

ハイブリッド

52%

Web

25.3%

集合

22.7%

● ハイブリッド (52.0%)

● Web (25.3%)

● 集合 (22.7%)

結果検討会の必要性

96.2%
必要

圧倒的多数の施設が必要性を認識。
不要との回答はわずか3.8%。

精度管理調査報告会の開催形式（希望）

ハイブリッド

48.8%

オンデマンド

45%

集合

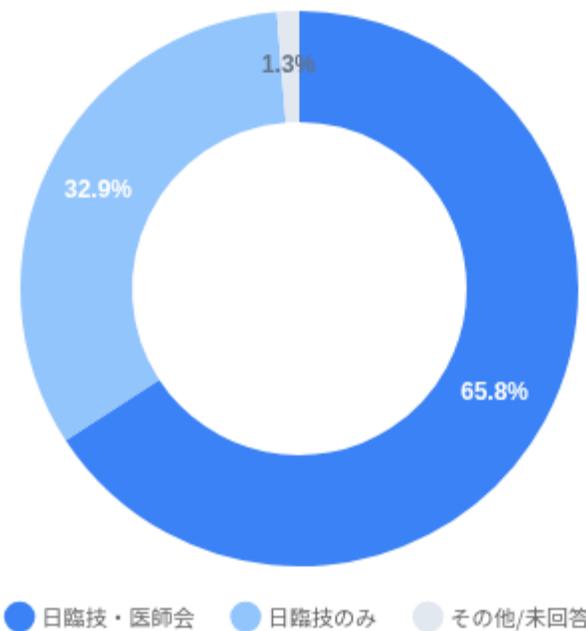
11.9%

注記: オンデマンド希望が昨年度比 +15.1pt 増加傾向

調査結果②: 他の精度管理調査・SARS-CoV-2

外部精度管理調査への参加状況

— 昨年度と同等



日臨技・医師会

昨年度: 65.5% 65.8%

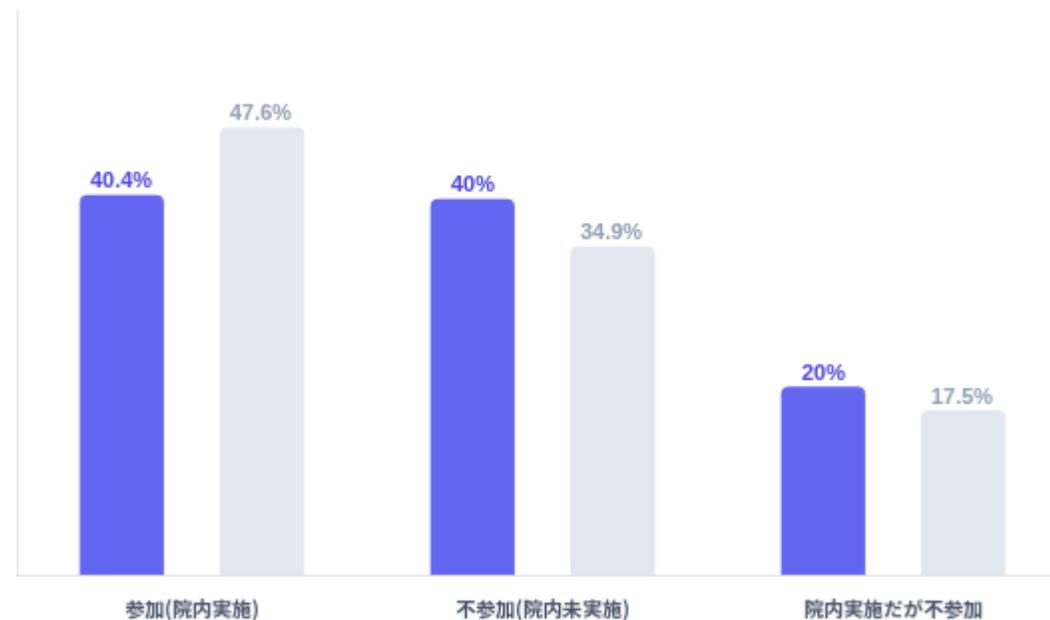
日臨技のみ

昨年度: 32.8% 32.9%

SARS-CoV-2核酸増幅検査

参加減少傾向

● 今年度 ● 昨年度



参加(院内実施)

参加
昨年度: 47.6%
40.4%

不参加(院内未実施)

不参加
昨年度: 34.9%
40.0%

院内実施だが不参加

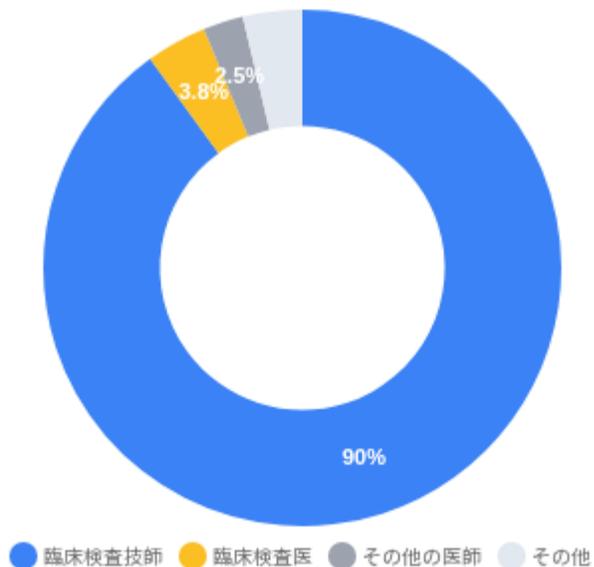
実施中だが不参加
昨年度: 17.5%
20.0%

調査結果③: 精度管理責任者・標準作業手順書

精度管理責任者の任命状況

↑ 技師への任命増

※医療機関では「検体検査の精度の確保に係る責任者」

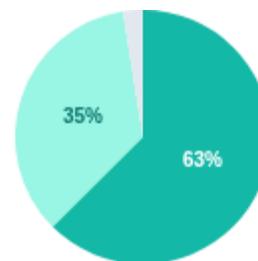


臨床検査技師	昨年度: 87.0%	90.0%
臨床検査医	昨年度: 5.8%	3.8%
その他の医師	昨年度: 5.8%	2.5%

標準作業手順書 (SOP)

✓ 整備進行中

1. 作成状況 (独自手順書の整備)



施設独自の手順書

62.5%

↑ 昨年度 58.2%

混在: 35.0%

2. 作成進捗 (全項目の完了率)



サンプルサーベイ部門の結果



測定項目数について

今年度の調査では、**凝固検査部門のみ**「適切」との回答が90%以上となりました。
昨年度は各部門で90%以上の施設が適切と回答していましたが、今年度は変化が見られました。



試料の量について

顕著な改善

凝固検査部門のみ、適切との回答が90%を超えました。

「試料が少ない」との回答推移（凝固検査）：
昨年度**4.2%**今年度**0.0%**へ改善し、十分な配布が実施できました。



所見

凝固部門配布検体量・設計ともに適切な水準に達しています。
他部門「適切」の回答が90%を下回っており、引き続き試料量の最適化に向けた検討が必要です。

フォトサーベイ部門の結果



設問の量

全体として概ね適切との評価が得られましたが、一部で「多い」との回答がありました。

「多い」との指摘があった部門:

生理検査部門 (4.5%)

微生物検査部門 (3.3%)

血液検査部門 (0.8%)



設問の難易度

各部門とも概ね適切ですが、一部で「難解」との回答が増加傾向にあります。

生理検査

12.5% (微増)

血液検査

4.9% (昨年0%)



設問の内容 (病理検査部門の課題)

病理検査部門において、10.5%の施設が「不適切問題あり」と回答しました。

主な意見: 設問1に対し「意図を汲み取ることが困難」「選択肢がどちらとも取れる」との指摘が集中。

評価対象外設問の結果



設問の量

各部門、概ね適切と回答しており、昨年度と比較して大きな変化はみられなかった。



設問の難易度

いずれの部門においても、難解ありとの回答は減少し、適切な難易度設定であった。



設問の内容

昨年度と同様に、いずれの部門においても不適切設問ありと回答を受けた部門はみられなかった。



評価対象外設問の必要性

必要であると回答した割合は各部門とも高く、昨年度と概ね同程度の結果であった。

まとめと今後の課題



開催形式の再検討

参加者ニーズの変化（Web/オンデマンド希望増）に対応し、
集合・Web・ハイブリッドの最適解を慎重に検討していきます。



試料の量の改善

今年度改善が見られた凝固検査以外の部門においても、
配布試料の最適化を継続して実施します。



アンケート回答率の向上

回答率が低い部門に対する働きかけを強化するとともに、
回答しやすい設問設計の改善に取り組みます。



質の高い精度管理調査の実施

設問内容の明確化（例：病理の設問見直し）や運営の最適化を通じて、
参加施設の費用対効果を高め、より質の高い調査を目指します。



Contact Information

問い合わせ先

実務担当者

及川 彰太

藤田医科大学病院

精度管理事業部事務局員



Address

〒470-1192
愛知県豊明市田楽ヶ窪1番地98



Tel

0562-93-2111



E-mail

soikawa@fujita-hu.ac.jp

本アンケート調査に関するご意見・ご質問等ございましたら、上記までお問い合わせください。